

おおはし みほ

大橋 美穂

尚美学園短期大学 6期

音楽学科・クラリネット専攻



略歴・プロフィール

1988年尚美学園短期大学卒業。東京コンセルヴァトアール尚美音楽社会研究コース卒業。

クラリネットを故大橋幸夫氏、円田剛明氏に師事。

短期大学在学中に研究課題奨励賞を受賞。

卒業後、芸能音楽事務所所属演奏者として演奏活動及び企画を担当。

その後、クラシック系マネジメント会社に転職し、海外オーケストラ公演をはじめ、東京都内主要コンサートホールにて様々なアーティストのコンサートマネジメントを担当。

退職後、単身ヨーロッパ各地やニューヨークに渡り、欧米の音楽産業について学ぶ。

帰国後アンサンブルグループを結成し、各地での演奏会や学校公演などの演奏活動を行うため、個人事務所及びレーベルを立ち上げる。

東京都内公共ホールのサービススタッフマネージャーとして、年間200公演を超える公演を担当した他、新しくオープンする公共ホールにてスタッフ育成やコンサルティングにも携わる。

私立ホールプロデューサーとして、ホール自主企画コンサートの企画制作を12年担当。

趣味の弓道では五段を取得。

現在の仕事について

現在は、ビーフラット・ミュージックプロデュースの代表として、コンサートマネジメント及び企画制作を行なっています。

主に、クラシックを中心とした演奏者や企業からの依頼を受け、コンサートホールでのコンサート開催に関わる準備、広報、チケット販売、当日の運営まで、演奏以外の部分全てを担当しています。

関わるコンサートは現在年間100公演近くあり、Hakuju Hallサポートプラン指定カンパニーとして、コンサートを開催するアーティストのサポートをはじめ、公共ホールでのアマチュアオーケストラ公演の当日運営のサポートなどの依頼は年々需要が高まっており、演奏者としてステージに立っていた経験が「演奏者の気持ちがわかるサポート」としてご好評をいただいています。

演奏が始まるまでの準備は多岐に渡り、広報ではデザインやWebサイト制作、近年では映像編集や動画配信に至るまで、常に新しいスキルが求められ、演奏者のニーズに答えられるように広範囲のスキルアップをしていくことがとても大変です。

また、演奏者のサポートだけでなく、「演奏者、聴衆どちらにとっても良い演奏会」を作るためのホール運営コンサルティングもさせていただいており、演奏会が終わる拍手を聞くたびに、演奏者と聴衆を繋ぐ重要な仕事であると実感しています。

尚美学園で学んで良かった事

在学中は、専攻のレッスンや授業に追われ、あっという間の2年間でした。

専攻実技での研鑽は勿論のこと、教職課程を履修していたため、専攻以外の授業や教育実習など、大変忙しく充実した学生生活でした。

そんな中でも、クラリネットアンサンブルでのコンサート準備の経験は、今の仕事に繋がっていると感じます。

現在と違い、昔は授業のレポートが手書きの時代でしたので、チケットやチラシ、プログラムを自力でデザインして作るとはとても難しく、パソコンの授業を選択していなかったら、まず自分たちで作ることはできなかったと思います。音楽大学で音楽以外の技術を身に付けられるとは、当時は考えてもいませんでした。

また、自分の専攻の師匠だけでなく、他の専攻の先生方や学生とも交流を持つことができたことは、自分の世界を広げることができ、大変貴重な時間だったと思います。

卒業後も繋がり続け、現在も先生や同窓生との交流は続いていて、一生の宝を得ることができました。

在校生・尚美を目指す高校生へのメッセージ

将来の目標を持って入学してきた人も、まだ具体的な目標が見つけられずに入学した人も、尚美在学中にたくさんの人との出会いや幅広い経験をすることで、見えてくるものがあります。

道を間違えた、と思っても、ちょっと遠回りしただけで同じ道に繋がることもありますし、ちょっと遠回りしたことで、他の人より多くの経験と知識を得られることもあります。

自分でゴールだと思っているところが、実はまだスタートしてすぐ、ということもあって、ゴールの場所も時期も人それぞれです。

でも、人との出会いや経験するチャンスは「今」しかないかもしれません。

尚美での学びの時間は限られていますので、どうぞチャンスは逃さずに、なんにでもチャレンジしてください。そしてチャンスは学内だけではなく、外にも目を向けていつでも羽ばたける準備をしてください。

尚美にはそのための環境と、道標となる先生方、同じ志を持つ仲間がいます！